

なま

6月号
vol. 172



特集

ぐだぐだ

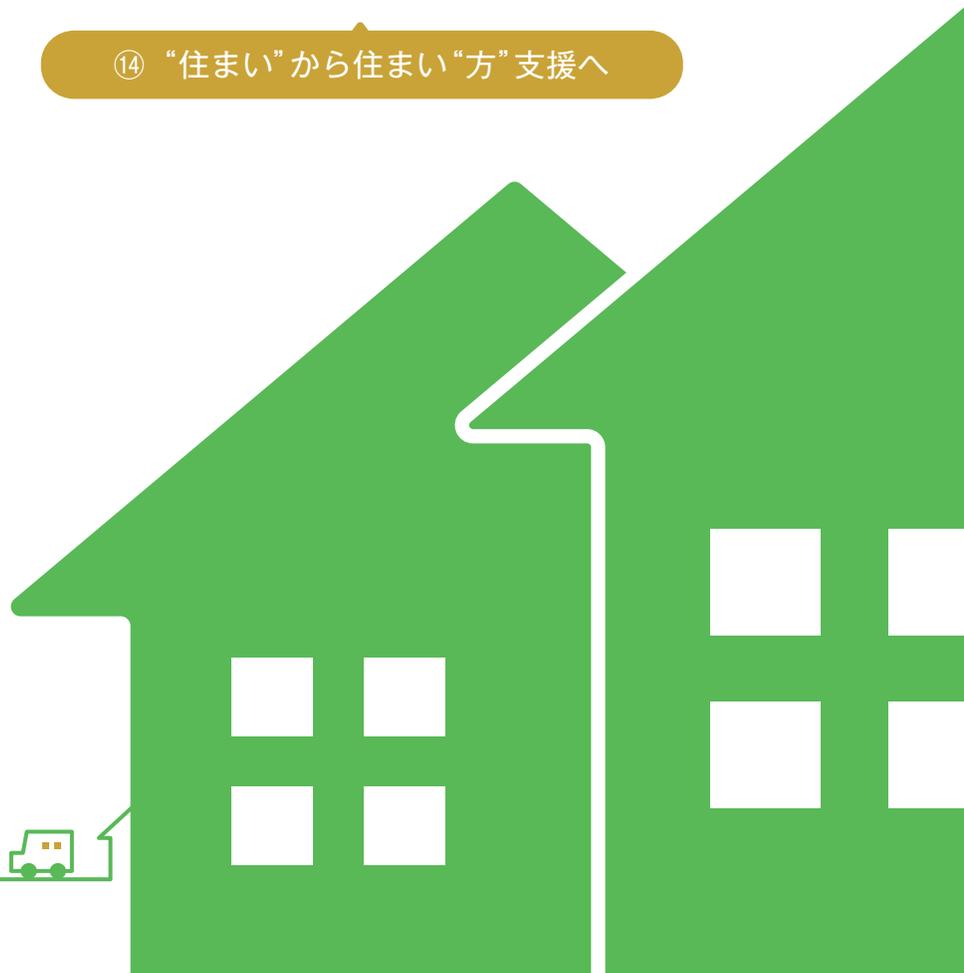
⑭ “住まい”から住まい“方”支援へ

「でんでんむしむし」
久宝寺緑地にて撮影

2018年1月からゆ〜とあいは居住支援法人のなかま入り。まちの人の相談の中で「このまちの公営住宅や古い木造住宅をもっと活かさなきゃ。」そんな気持ちがふつつつあふれてくる。ヒントを探しにいろんなところへ、いろんなひとに。



⑭ “住まい”から住まい“方”支援へ



2002年にホームレス自立支援法ができてから今年で20年目。厚生省の全国ホームレス概数調査では、2003年の25296人(大阪府7757人、大阪市6603人)から21年の3824人(大阪府990人、大阪市943人)と大きく減少している。リーマン・ショックやコロナ禍という大きな出来事があっても、バブル経済の崩壊で多くの方に路上生活を強いた1990年代とは様相が異なる。

その背景には、ホームレス支援団体などが積み重ねてきた実践や経験から生まれた新制度や既存制度の運用の見直しがあるはずだ。昨年20年度に新設された日常生活支援住居施設の認定制度も同じように捉えてみると、どんなふうに理解できるのか。大阪市立大学准教授の垣田裕介さん(生活科学研究科)にお話をうかがった。

◆ ホームレス支援と生活支援

西田 日常生活支援住居施設(以下、日

住)の認定制度が20年度にできました。生活支援について一定の委託料が行政から支払われること他に、どんな特色がある制度なんでしょうか?

垣田 生活支援といっても幅広いのですが、金銭管理や声掛け見守り、炊事洗濯など入居者の実情に応じたサービスを提供してきた無料低額宿泊所(以下、無低)があります。そのような生活支援付きの住まいが制度化されたといえます。

90年代後半から00年代のホームレス支援の勃興期、まずは「畳の上にあがってもらおう」という野宿生活の脱却に主眼が置かれていました。ちょうどそのころ私は大学院生で、各地の支援団体に足を運んでいました。が、住まいを確保しても、しばらくするとゴミ屋敷になったり、食費を酒に費やしたり、孤立してしまったり、野宿生活に戻ったり、ひとり暮らしがままならない方々を目にしました。

西 「くらし応援室」の佐々木さんも同じことをよく言っていました。「住ま

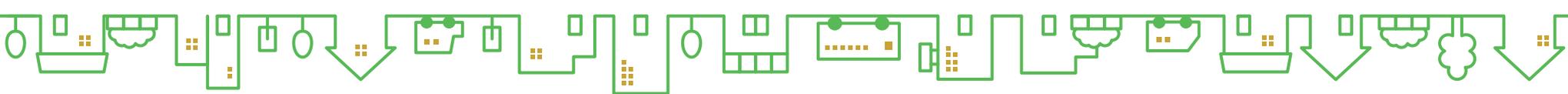
いと仕事を確保しても、また野宿生活へと遁走してしまう人がいる。違う形のアプローチが必要で、学校のようなものができないだろうか」と。それが楽塾を始めたきっかけだそうです。

垣 懐かしいですね。佐々木さんは2003年頃から『なにわ路情』という新聞をつくったり、いろいろと一緒させてもらいました。佐々木さんも通勤を運営されていましたが、北九州では抱撲(前・北九州ホームレス支援機構)、大阪ではサポーターハウス、東京ではふるさとの会など、住まいの提供だけでなく、生活保護をベースに日常生活支援をプラスした



ちょっとは慣れた? ZOOMでインタビュー





実践が各地でみられるようになりました。

貧困ビジネスとの線引き

西 リーマン・ショック後には「貧困ビジネスだ」と指摘される施設が多かったですね…

垣 いまも様々な意見があり、「支援の必要性はだれが判断しているのか?」「生活保護をピンハネしているのでは?」という声や批判もあります。国も貧困ビジネス対策には頭を抱えていました。ただ、飯場や社員寮など食事付きの集団生活に慣れていて炊事をほとんどしたことがなかったり、日雇い歴が長く明日の生活費分だけを働いて稼ぐという生活習慣だったり、家族との縁が切れていたり、知的障がいを抱えていたりなど、生活保護の受給だけでは自立した生活が難しい、支援付きの住まいのほうが安心して暮らせるという入居者が少なくありません。

西 困い込みで自由がなかったという現場で日常生活支援の内容と時間を調査したタイムスタディーによると、金銭管理や食事の提供だけでなく、介護保険サービスの利用調整や何げないコミュニケーションなどにも時間をかけていたことがわかりました。専門的な支援を提供する社会福祉施設よりも、家族を代替するような機能が大切にされている印象でした。大阪でいえば、支援員がいて、居場所的なりピンギもあるサポートタイプハウスが近いイメージです。

それらの実践をもとに、支援員の配置基準や個別支援計画策定など日住の運営ルールが定められました。

地域事情に合った居住支援を

西 今後は大阪でもサポートタイプハウスから日住への転用が増えてきそうですね。

垣 事業者が判断することなのでわかりませんが、日住の実施主体は都道府県・政令市なので、どの程度活用されるかは地域によってバラツクと思います。

元入居者の告発や居室の狭さや金銭管理の不透明さなどを指摘する声もあります。

垣 支援付きの住まいが万能だとは思いません。どんな生活を望むかは人それぞれです。でも、一部の声だけを拾って問題視する報道は誤解を招きます。支援員を配置しようとするれば、都市圏では居室が狭くなってしまったり、住宅扶助だけでは不足する部分を生活扶助から充当したり、やむを得ないこともあります。なにより、実際に多くの方が支援付きの住まいに受け止められて

救われてきたという事実があります。これを十把一絡げに貧困ビジネスと括ることは反対でした。机上ではなく、現場の実態をちゃんと見る。だからこそ、入居者の特性や支援の実態

ます。そして大阪には、サポートタイプハウスのほかに、入居を断らない民間賃貸住宅の受け皿が賃貸市場を形成し、無低は多くありません。

でも、他の地域はそうではありません。ゼロゼロ物件(敷金礼金不要な物件)もほとんどなく、入居拒否されるケースも多いと聞きます。そんな地域事情があったからこそ、NPOなどが、元社員寮などを丸ごと借り上げる無低モデルを広げてきたと思います。大阪でどれほど日住の機運が高まるかは、いまのところわからないですね。

西 大阪府は居住支援法人が全国で最も多いのですが、居住支援の説明資料をみると住まい確保に重点が置かれ、入居後の支援は手薄な印象があります。そこを日住が担っていけば、増える気もします。

垣 居住支援にはフェーズがあり、全国状況をみれば、いまは住まい確保が大きなテーマでその部分に力が注がれています。でも、ホームレス支援がそつだったように、いずれは入居

無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準(最低基準)について

○ 改正社会福祉法(平成30年6月成立)の規定に基づき、これまでガイドライン(通知)で定めていた無料低額宿泊所の設備・運営に関する基準について、法定(※)の最低基準を創設。(令和2年4月施行)
※ 最低基準を定めた厚生労働省令案についてパブリックコメントを実施。令和元年8月19日に省令を公布した。
 ※ 当該省令を踏まえて、都道府県・指定都市・中核市がそれぞれ最低基準に関する条例を制定する。

事業範囲の明確化	・入居の対象を「生計困難者に限定している場合」や、「生活保護受給者が定員の概ね5割以上であり、居室使用料や共益費以外の料金を受領している場合」は、無料低額宿泊所に該当するものとして最低基準に基づく規制に服するものとする。
居住環境の整備	・居室は個室とし、面積は7.43㎡(地域の事情によって4.95㎡)以上とする。 ・多人数居室や簡易個室は、施行後3年(令和5年(2023年)3月)の間に解消する。
防火・防災対策	・建築基準法及び消防法の規定を遵守した建築物や設備とする。消火器や自動火災報知設備の設置義務がからない場合も防火にかかる設備の整備に努める。 ・非常災害に対する具体的計画を立てるほか、避難訓練等を年1回以上実施する。
利用手続き・利用料金の適正化	・食事の提供等のサービス内容や利用料等を盛り込んだ運営規程を整備し、都道府県等に届出を行うとともに、施設内への掲示や公開を行う。 ・入居申込者に対しては、運営規程の内容を文書で説明し、利用契約を文書により締結する。 ・居室使用料、食費、光熱水費など、利用者から受領できる費用及びその基準を規定する。 ・金銭管理は入居者本人が行うことを原則とする。金銭管理に支障がある入居者の本人の希望に基づき金銭管理を行う場合は、個別の契約締結、管理規程の整備、帳簿の整備、収支の記録など、適正に実施する。
長期入居の防止・居宅生活移行	・無料低額宿泊所は、基本的には一時的な居住の場であることに鑑み、一般住宅等で独立して日常生活を送ることが可能かどうか常に把握し、可能な場合には円滑な退居に向けて必要な支援を行う。 ・契約期間は1年以内(更新可)とし、契約期間終了前には利用者の意向を確認するとともに、福祉事務所等の関係機関と利用の必要性について協議する。 ・一般住宅での生活へ移行するための準備や訓練を行うためのものとして、利用期間が1年以下で入居定員が6人未満のサテライト型住居を設置することができることとする。(※令和4年4月施行)

を把握し、支援付きの住まいが果たす機能・役割を明確にし、貧困ビジネスとの線引きを目指したのが、日住です。
西 具体的にはどんな機能や役割がありましたか。

後の日常生活支援が重点テーマになると思います。日住は生活保護受給者が対象で、その他の方々はどうか? 日住の基準や支援費の妥当性も議論されるでしょう。大切なことは、現場の積み重ねで制度をつくっていくことです。

西 西成区北西部には1500戸近くの市営住宅があり、空室もあります。市営住宅を日住に登録して居住支援の資源として活用したり、高齢化した住民だけではままならない自治会支援などいろいろなやり方がありますが、なかなか進められていない。どうすれば、日住のような動きができるのでしょうか。

垣 市営住宅を活用した居住支援の大阪モデルには期待したいです。住居の確保だけでなく、すでに市営住宅に入居されている住民さんのニーズも知りたいです。そのあたりを明らかにし、問題提起からはじめるのがいいのではないのでしょうか。

文責:西田吉志 田岡秀朋

議論を通じて定められた無低の最低基準
 出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/12002000/000555635.pdf>





素麺で、「ちゃんぶるー」は「ごちやまぜ」。そのソーミンちゃんぶるーにはニラと紅しょうがが入ってて、さっぱりした風味が素晴らしい。ゴーヤーちゃんぶるーは絶妙な塩加減で、ゴーヤーの苦味も程よくお酒のつまみで



もご飯とも相性抜群。もずくの天ぶらは紅しょうがと一緒に揚げていて、衣のサクサクともずくの食感を天つゆにつけて食べると絶品でした。メは豚の皮付き三枚肉を泡盛や醤油で甘辛く煮込んだ料理、ラフテー。じっくり

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

西成の沖縄の味 「琉KEN」

今回の取材でおうかがいしたのは、西成で沖縄料理を楽しめるお店「琉KEN」さん。今年で開業8年を迎えられます。オープンのきっかけは「お店をしよう」という亡きお父さんとの約束。琉球の「琉」とお父さんの名前を合わせ、「琉KEN」という店名にしたそうです。

一歩、店の中へ入るとBGMは沖縄音楽、店内の雰囲気と合わさると、そこはまさに琉球。テーブル席、カウンター、奥にはゆっくりとくつろげるお座敷もあり、アロハシャツが良く似合うマスターがお迎えしてくれました。

沖縄料理をいただくなら、ドリンクも沖縄がベストでしょう。普通のビールより飲みやすく口当たりの良いオリオンビールと沖縄の果物を使ったシークアーサーチューハイで乾杯。ちなみにシークアーサーとはレモンの代わりに使われる沖縄の柑橘類です。「シー」



は「酢」、「クアースン」は「食わせる」という意味で、二つが合わさった「シークアーサー」は「酢食わし」となるそうです。

料理は「ソーミンちゃんぶるー」、「ゴーヤーちゃんぶるー」、「もずくの天ぶら」、「ラフテー」という沖縄料理の定番4品を注文。

ソーミンちゃんぶるーは「琉KEN」のお姉さんおすすめの商品。ご存知の方も多いと思いますが、「ソーミン」は

煮込まれた肉の味はもちろんのこと、簡単に御箸でお肉が切れて口に入れたらとろけるくらい柔らかかったです。西成にこんなに美味しい沖縄料理店があったとは。個人的に常連になっでしまいたいそうです。

「でも、今はコロナで外食は控えている」なんて方もご安心ください。「琉KEN」さんでもウーバーイーツのサービスをご利用いただけます。なので、家にいながら美味しい沖縄料理を楽しむことができます。気になった方は、ウーバーイーツで「琉KEN」を検索してみてくださいね。ご飯ものはタコライスとポーク玉子おにぎり、麺は沖縄そば、沖縄のファストフードとして有名なカーリーフライが大人気とのこと。

文責：山村裕太・西原夏美

琉KEN

住所：西成区旭1の9の18
営業時間：18時～23時
定休日：月曜日
予約：06-7494-7105
※営業時間・休日は変更となる場合がございますので、
ご利用前にお店にご確認ください。



[沖田一志]USB をゆっくりさすと遅くなる？というネットの記事、メーカーも認める事実らしい。新旧の規格に対応する端子が前後に並んでる。ゆっくりだと旧規格の端子だけでPC が判断する。



[田岡秀朋] 敷金3か月。経年劣化は入居者負担。申込から2か月後の入居。これが市営住宅の入居条件。減免・猶予もあるけど、もうちょいセーフティな配慮があれば。



[谷口円] まだまだ長い付き合いになりそうなので、マスクを色々試してみました。谷口的No.1はユニチャームの超快適マスク。一度つけると他のマスクに戻れない程のフィット感（でも高い）。



おかんのため息

- **おかん** はあ…。仕事でこんな人おってん。聞いてくれる？
- ◆ 息子 どないしたん？
- 竹沢さん（仮名）っていう末期の胃がんの患者さん。ホンマはずっと病院にいなアカンねんけど、病院の生活がイヤで無理やり予定よりも早く出てきはって。ケアマネの外川さん（仮名）にベッドの納品を頼まれてたんやけど。
- ◆ ほうほう。
- 外川さんから「もう、今日帰ってきたのよ！」って連絡入って、急いで持っていったん。
- ◆ 大変やな。
- ターミナルの患者さんやから、褥瘡予防のマットもいっしょに入れといたら「これは気持ちええわ！」って喜んでくれて。
- ◆ いい仕事するねえ。
- 竹沢さん、寝たきりのはずねんけど、そのときに「電動（車いす）を入れてくれ」って頼まれた。歩かれへん、ホンマに。家のなか這ってるような人なんやけど、電動入れたら「わあ、これあったら行けるわあ」って、すごいヤンチャしとったような顔して喜んでました。
- ◆ 「ヤンチャ」って。
- でな、次の日の休日、家の近所で会って「ここまで（電動車いす）乗ってきてんの？」って。もう、走り回ってはる（笑）。それから契約せなアカンねんけど、ずっと電動で出歩いて、

携帯電話も持ってないから、やっと会えたんは、3週間後。

- ◆ 元気やなあ。
- けど、そのときはもう病人の顔になっとった。手も足もパンパンになって顔も腫れとったし、髪の毛もなくなってた。で、話したら、1カ月の入院生活がホンマに辛かったみたい。「刑務所に入ってる10年よりもこの1カ月のほうが辛かった」って。
- ◆ え、そうなんや。
- 「出たり入ったり、7、8回したかなあ。」って言うから、「トータルで何年ですか？」って聞いたら、「20年かなあ」って。「でも、それよりも病院におった1カ月のほうが辛かった。もうあんなとこにおられへんから、出てきたわあ」って。
- ◆ ホンマにヤンチャやったんやな。
- それ以来どうしてるか気になって外川さんに聞いたら、なんか一人で区役所にも行ってきたらしい。足も手も腫れて床ずれもあって歩けない状態なのに、そうやって這うでも車いすに乗って、出歩きはるんやね。
- ◆ 何がそうさせるんかな？
- 4月に入って出た保護費もすぐ使い切ってしまった。はっはっらしいし。
- ◆ 「いつまで生きれるかわからんから使い切ったろう」ってこと？
- いや、そんな感じやないと思う。コーナンに行って家具を買ってはった。「どういことなんかな？」って外川さんも言うてたけど。
- ◆ お医者さんから余命も聞いてるんかな？
- うん、聞いてたと思う。でも、65歳やっただし、まだまだ人生終わるつもりはないって感じやった。かわいい笑顔で「ヘルパーさんとか、みんながよーしてくれる。ほんま感謝してるわ」って言った。5月に入ってとうとう亡くなりはったけど、最期はみんなに助けってもらって幸せやったんちがうかなあ。おかんも、そのうちの一人やで。知らんけど…。

melody of smiles



5月のゴールデンウィーク、子ども達は釣りに行ったり、自宅で勉強やゲームをして過ごしていたようです。スクールでは日本語を用いて行う制作の授業でこいのぼりを完成させました！



GCC Kids International School

たぐの 3くふうたま

昼間

あるく

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

爽快な季節になった。片道15分の自転車通勤を片道45分の徒歩通勤に変えてみた。すると「まち歩き」のワクワク感に取り憑かれてしまった。

“まちを堪能するには、快走な自転車よりも歩きが最適だ。お店の看板メニューに街路の草木、建物のデザインや外装材の質感も見て取れ、道の反対側を歩くだけでも表情は変わる。世には色んなマンホールがあるようで「信号用って何？」とか、道が排水の為に意外と斜めで歩きにくいことに気付いたり、これまで見落としていた風景が僕に刺激をくれる。

徒歩通勤は運動不足の解消だけでなく、通勤時間を濃密にした。自転車の数倍の時間をかけて見たまちの風景は解像度が変わった。足で距離を実感すると、途端にまちが広く深く感じる。また、自然な一定のリズムは思考を程よく区切ってくれ、モヤモヤにも踏ん切りがつく。新調したランニングシューズで歩くのも楽しみの一つ。ちなみに僕はひとりだと早歩きで、1秒で2歩以上進む。多分せっかちです。

(安田拓也)



凝ったデザインの大阪市のマンホールと車止め

[西原夏美] 最近10年近く応援しているバンドの新曲が出たんですけど、その新曲のカップリング曲がまたよくてですね、ずっと聴いてて、コロナ落ち着いたらカラオケ行って歌いたいです。

[西田吉志] 長い間釣りに行ってない。僕は船酔いするので陸釣りになるけど、夕方から始めて夜釣りでも電気ウキを使うのが好き。暗い海に浮かぶ電気ウキがスウ〜と沈んでいく瞬間がたまらない。



[安田拓也] 3回ほど“クラファン”で買い物。事前購入なので商品が待ち遠しい。資金調達中であれば早期割も。発案者ともまだ製品化していない“想いの段階”を共有している特別感が新鮮。



[福井龍磨] 山陽電車に乗ると、明石を過ぎた辺りからノスタルジックな空気感に包まれる。東二見まで海のすぐ側を走るが、車窓から海は見えない。そこが良い。江井ヶ島という駅名に惹かれる。



葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



「アロエの葉っぱ」の巻

痛くない？とみんなが言う。ぜんぜん平気ってわたしは答える。さわってみて。トゲがあっても刺さらないから。泣かせてみて。なみだがでてでも幸せだから。怒らせてみて。こころを強くしたいから。笑わせてみて。みんなと一緒に笑いたいから。トゲがあっても怖がられてもわたしはわたし。ありのまま生きています。

赤井まゆみ

アロエのこと

南アフリカ、ジンバブエなどが原産地。民間薬としても使われるので「医者いらず」とも呼ばれている。花言葉は「苦痛」「悲観」。

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



(寺本良弘)

緊急事態宣言が5月末まで延長された。最近いよいよ身近でコロナ感染の話聞くようになってきた。あと少し、ワクチン接種ができるまでとは思いますが、とくに多くの飲食店が休業を余儀なくされているのは気の毒でしかたない。

ある会議で、いま高齢者にコロナワクチン接種の案内は届いているものの、しっかりとした情報が無い中で本当に接種予約できるのだろうか、予約ができなくて面倒になって「もういいや」と諦める人が出てこないかなどが話題になった。

広く公平にすべての人が接種できなければ、今の状況を乗り越えることはできない。そこでゆ〜とあいは高齢者や障がいをお持ちの方を対象にしたワクチン接種に関する相談や支援を講ずることにした。まずは区役所にある公の情報を取り寄せて、わかりやすさを心掛けた広報活動に取り組むことにしよう。

い湯かげん

もうがまんができない人から救済を

ボクは大の陸上ファンなので五輪テスト大会(5月9日)のTV中継に見入っていたが、桐生(男子短距離)と新谷(女子長距離)の大失敗には驚いた。ネットによると、会場の外で五輪中止を求めるデモが起こっていた。多少は関係しただろうが、何より、決断しない政治が元凶だと腹立った。コロナと五輪の二兎を追うことを、ボクも期待して来たが、やはり失敗だった。中止の判断の責任は大変だろうが、できもしないことを言い続ける政治は、もはや邪魔でさえある。

これも失敗だった。パンデミックの対処は「がまん」だった。ワクチンの普及で免疫を持つまでの約2年間、どれだけ市民にがまんを強いることができるかが政治の使命だったが、この確信が揺らいだ。「経済は大打撃を受けるが、命には代えられない」。吉村知事はそう言い続けるべきだった。住民投票を断念していたら、それが起点になっただけだが、あれほど情性を戒めた維新も情性に流れた。決断には想像以上の勇気が求められたと思うが。「がまん」には「はげまし」が必要なのは自明だ。休業や給与の補償について政府は曲がりなりにもよくやってきたとは思いますが、長期戦対応と補償から排除された非正規雇

用等への過渡措置は不完全なままだ。国会が強行した罰則付きのコロナ特措法は、多くの自治体の長が「適用せず」と冷静だったことに救われている。

地元の身近なところでは、感染の危険と向き合う医療現場や、創設20年ほどの若い法人が多い社会福祉法人などのがんばりは称賛に値する。今こそ西成には市営住宅居住者が多いが、半世紀前はそうではなかった。老朽住宅の密集市街地のままだったら、西成の感染状況は悲惨だったはずだ。公立の解放会館に代わって民営のにしなり隣保館が残ったのも幸運だった。社会福祉法人や隣保館があつてのことと、関係者の努力には頭が下がる。

こんな市民の「がまん」を「日本人特有の同調意識」と評論するのはあまりに浅薄だ。政治や行政が今ももっとも優先すべき課題は、がまんやがんばりが限界に来ている市民の救済だ。ここがボクの主訴だ。自殺のおそれがある人、生活体力と制度体力が弱い母子家庭、社会生活に未熟な若者、人権が脅かされそうの人々、

そして、長期戦を担う医療福祉関係者への支援が急務だ。詳しく書けないが想像して欲しい。

処方箋の一つは、身近な生活圏やネット空間に相談窓口の設置と相談員の確保、医療福祉現場への助人の派遣だ。ワクチン接種を終えた人たちに協力してもらえないのか、若者や母子家庭の親への優先接種は無理なのか。もう一つは、金銭及び住居の提供だ。緊急生活資金や一時的借り上げ公営住宅は法制化・条例化できないのか。さらにコロナ差別防止条例の制定もある。差別防止に金はかからないから話は早いはず。部落解放同盟大阪府連の提案に吉村知事は耳を傾けるべきだ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 最近のアニメは作画もストーリーも緻密で、おもしろいものもけっこうある。だから、若い世代が昔のを観ると、ちょっと稚拙に感じるかも。けど、勢いのある画はすたれない。



[山村裕太] 33歳になりました。ゾロ目ですね。33歳になった感想は以上です。

地域の縁を心でつなぐ



松の寺こい

心の時間

夜遅くまで頑張る受験生に

「勉強は楽しい？」と聞くと「しんどいけど、問題が解けて良い成績を取ったときは楽しい」との返事。百田尚樹さんの小説『夏の騎士』には、スポーツ選手など一流の人の多くは「苦痛を充実感に変えたり、その結果得られることを楽しさに変換している」とあり、この受験生にも通じるように感じます。

逆もまた然り。「苦痛」に出会ったとき「快楽」に逃げてばかりいては、一流にはなれないでしょう。

もちろん「みんなちがって、みんないい」という金子みすずさんの詩のように、一流を目指すことだけが正しいわけではありません。「幸せ」を目指しましょう。何げない日常の中にそれは見つかるはずですよ。すてきな本と出会い、最後まで読み終えたとき。「おいしいもの」をおいしく頂いたとき。優しい言葉をかけられたとき。一流の人の努力や才能にはかなわなくても、「幸せ」集めに一流も二流も関係ありません。No.1だけでなくOnly Oneの人生も等しく尊いのですから。

松向寺 通法

ココドコ

ココはドコ？
わたしはゆ〜とあ？
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

西成で水がある所といえば、あの辺りですよ。写真をよく見ると大ヒントが載っていますよ。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします（先着10名様限り）。回答期限は6月末日、ふるってご回答ください！

【先月号の答え】 花園町と岸里の間くらい、松1丁目のお米屋さんの看板でした！お店は閉まっているのでお米は買えなさそうです。



2017年6月撮影



ゆ〜とあ

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあ」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび6月号(vol.172)
発行日:2021年6月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司
編集:沖田一志、岡田秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)
イラスト:hidarimakい デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

